

東京外かく環状道路（関越道～湾岸道路）の整備促進に関する要望

記

首都圏が国際競争力を強化し、世界から人材・情報・投資が集まる国際的ビジネス拠点としての役割を十分に果たすためには、経済活動や都市機能を支える基幹道路ネットワークのさらなる整備が不可欠である。

中でも、首都圏三環状道路は首都圏の経済や生活を支える重要な基幹インフラである。加えて、2016年以降、環状道路の利用が料金の面で不利にならないよう、起終点を基本とした料金体系が首都圏に導入されていることから、一刻も早い整備が求められる。

こうした中、首都高速中央環状線は、2015年3月に全線開通し、また、現在約9割の整備率である圏央道は、早期全線開通に向けて検討・工事が進められている。これらの道路においては、渋滞緩和効果や、広域観光の振興や生活道路の安全性向上、大型物流施設等の企業立地や生産性の向上、雇用や税収の増加など多岐にわたるストック効果が確実に発現している。一方、東京外かく環状道路（外環道）は、千葉区間が2018年6月に開通し、渋滞損失時間の減少や時間短縮による生産性の向上など、様々な効果が現れていることから、未開通区間として残っている関越道～湾岸道路間の重要性がいよいよ高まっている。

しかしながら、2020年10月、調布市において、トンネル直上部の地表面の陥没が確認され、その後の調査で3か所の空洞も見つかった。これを受けて、事業者は、シールドトンネルの掘進作業を停止し、陥没・空洞の原因究明と補修・補償への対応、周辺住民への丁寧な説明に取り組んできた。加えて、調布市東つつじヶ丘で発生した陥没事故を受けて設置した「東京外環トンネル施工等検討委員会有識者委員会」においてとりまとめられた東京外環事業における再発防止対策を元に、2021年12月に策定された「シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン」を踏まえて、事業者は外環道における再発防止対策を取りまとめ、「東京外環トンネル施工等検討委員会」においてその内容が確認されたところである。引き続き、補修・補償の対応や地域住民への説明を尽くすとともに、今般策定された再発防止対策を徹底した上で、早期の工事再開が望まれる。

一方、東名高速以南（東名高速～湾岸道路間）は、首都圏三環状道路の総仕上げの区間であり、湾岸道路等との接続により関越道・中央道・東名高速と羽田空港や京浜港とのネットワークが確立される極めて重要な路線であり、高いストック効果が期待されているが、未だルートが確定していない予定路線である。その具体化に向けた検討の場として、2016年2月に「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」が設立し、2019年6月には5回目の協議会が開催されたところであるが、早期計画具体化に向け、検討をさらに加速していくことが求められる。

外環道の整備は、都心に流入している通過交通が迂回でき渋滞解消につながるため、関越道～東名高速間のみでも経済効果や生活道路の安全性向上、環境改善効果など、多岐にわたるストック効果が期待されている。とりわけ、首都直下地震等の発災時には、一部区間に不通が生じた際にも速やかに移動することができる迂回機能（リダンダンシー）を発揮し、日本の東西交通の分断を防ぐことから、必要不可欠な路線である。

従って、外環道のさらなる整備促進に向けて、右記の通り、特段の配慮をお願いするものである。

1. 陥没・空洞箇所周辺における丁寧な対応

・地域住民に丁寧に説明するとともに、陥没・空洞箇所周辺での地盤補修、補償等の対応について、誠心誠意取り組むこと。

2. 再発防止対策を徹底し安全確保を最優先とした上での、シールド工事の早期再開と東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）の早期開通

・大泉側本線シールド工事及び大泉JCTランプシールド、中央JCTランプシールド工事においては、地域住民に丁寧に説明するとともに、今般策定された再発防止対策を徹底した上で、早期に工事を再開すること。

・本体トンネル部の工事を安全かつ着実に推進し、一日も早い開通を目指し、国において用地および工事に必要な財源を確保すること。

・現在、約9割の進捗であるJCT・IC等の用地取得及び区分地上権取得を促進すること。特に進捗が遅れている青梅街道IC部における用地取得、区分地上権取得を国と東京都が連携のうえで加速すること。

3. 東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）の早期計画具体化

・環状道路としての機能を最大限発揮させるために、「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」において、スピード感をもって検討を進め、東名高速から湾岸道路間のルート全体の計画について、起終点やインターチェンジの位置等を決定し、できる限り早期に事業化すること。

2022年1月26日

東京外かく環状道路（関越道～湾岸道路）整備促進連絡会議

東京商工会議所	会 頭	三村 明夫
八王子商工会議所	会 頭	檜崎 博
武蔵野商工会議所	会 頭	高橋 勇
青梅商工会議所	会 頭	小澤 順一郎
立川商工会議所	会 頭	川口 哲生
むさし府中商工会議所	会 頭	濱中 重美
町田商工会議所	会 頭	深澤 勝
多摩商工会議所	会 頭	伊野 弘明
東京都商工会連合会	会 長	山下 真一
一般社団法人東京都トラック協会	会 長	浅井 隆
一般社団法人東京バス協会	会 長	南 正人
一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会	会 長	川鍋 一朗
東京都商店街連合会	会 長	桑島 俊彦
公益財団法人東京観光財団	理事長	金子 眞吾
公益社団法人東京青年会議所	理事長	外口 真大